

みおしえ学習会 【十全の守護を学ぼう】

問1) 次の（ ）に入る言葉を下から選んで入れ、文章を完成させましょう。

親神様は、（ ）ぐらしを楽しみに、この世（ ）をお造り下され、御
守護下さる（ ）の神様、（ ）の神様であります。この親神様の（ ）
なる御守護を十に分け、それぞれに（ ）を配して、お説き分け下さっています。

【 神名 ・ 陽気 ・ 人間 ・ 実 ・ 十全 ・ 元 】

◇くにとこたちのみこと 人間身の内の眼うるおい、世界では水の守護の理

問2) 水について、どのようなイメージを持っていますか？思いつくままに書いてみましょう。

◇をもたりのみこと 人間身の内のぬくみ、世界では火の守護の理

問3) 「火」に関係の深い仕事には何がありますか？又、「ぬくみ」という言葉から連想する職業には何がありますか？思いつくままに書いてみましょう。

(火) _____ (ぬくみ) _____

◇くにさづちのみこと 人間身の内の女一の道具、皮つなぎ、世界では万つなぎの守護の理

問4) 日頃、生活する中で、つなぎの守護と思われるものにはどのようなケースがありますか？下線部分に書いてみましょう。

例えば、 _____ と _____ を _____ でつなぐ。

◇月よみのみこと 人間身の内の男一の道具、骨つっぱり、世界では万つっぱりの守護の理

問5) 見えないところ、陰で支えてくれているものには何がありますか？

◇くもよみのみこと 人間身の内の飲み食い出入り、世界では水気上げ下げの守護の理

問6) 水気上げ下げの守護とは、どのようなことでしょうか？思いつくままに書いてみましょう。

◇かしこねのみこと 人間身の内の息吹き分け、世界では風の守護の理

問7）これまでに、あなた自身が励まされた言葉や心が勇んだ言葉は何ですか？又、その言葉を掛けられ、どう思いましたか？併せて書いてみましょう。

【励まされた言葉・勇んだ言葉】

【その時の思い】

◇たいしょく天のみこと 出産の時、親と子の胎縁を切り、出直しの時、息を引きとる世話、世界では切ること
一切の守護の理

問8）身近にある切る御守護には何がありますか？自由な発想で書いてみましょう。

◇をふとのべのみこと 出産の時、親の胎内から子を引き出す世話、世界では引き出し一切の守護の理

問9）サイドトークをした相手の方への誉め言葉を、思いっくだけ書いてみましょう。

◇いざなぎのみこと 男雛型・種の理 いざなみのみこと 女雛型・苗代の理

問10）今後、あなたは、どのような種を蒔き、育てていきたいですか？

振り返り）今日の学習で一番心に残った言葉や事柄は何ですか？また、今後、何を心掛けていきたいと思えますか？

◆私たちの身体は、この親神様の日々の御守護により、目で物を見分け、耳で理を聞き分け、鼻でかぎ分け、
口で噛み分け、手で働き、足で歩きと、思いのままに使わせて頂けるのであります。